



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月26日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,936	4.8	298	23.9	294	21.2	154	32.7
29年3月期第2四半期	5,185	4.8	392	13.3	374	9.4	229	13.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 154百万円 (22.9%) 29年3月期第2四半期 199百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	24.72	
29年3月期第2四半期	38.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	9,196	5,316	57.8	849.72
29年3月期	9,619	5,287	55.0	845.10

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,316百万円 29年3月期 5,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		20.00	20.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	2.8	600	20.8	580	22.3	310	33.9	49.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,257,230 株	29年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	529 株	29年3月期	529 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,256,701 株	29年3月期2Q	6,023,901 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年10月26日(木)及び27日(金)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業製造業を中心に企業業績や雇用環境の緩やかな改善が続いております。しかしながら、将来的な不安要素が改善できず、個人消費におきましては、可処分所得の伸びの鈍化や物価上昇への懸念が根強く、依然として購買への慎重姿勢が強く、低迷が続いております。

食品業界及び外食業界におきましても、低価格志向などの生活防衛意識が継続しており、品質や機能性を求める選別消費の傾向が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をととして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、49億36百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

利益面では、売上総利益は工場の減価償却費の増加などにより前年同期比4.6%減少し、販売費及び一般管理費は前年同期比1.9%減少しましたが、営業利益は2億98百万円（前年同期比23.9%減）となり、経常利益は2億94百万円（前年同期比21.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億54百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

今期の経営方針である「主力6アイテム（280ml）の販売強化」、「ブランド戦略継続」、「ゾーニング戦略推進」、「北部九州エリア深耕及び首都圏販売強化」のもと、売上拡大を図ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間におきましては、北部九州エリアは前年同期を上回りましたが、首都圏が前年同期を下回り、全体としては売上高が前年同期比減少となりました。

商品別では、主力ドレッシングの「オレンジキャップ」、「焙煎香りごま」が前年同期を上回る数字で推移いたしました。一方で、前第2四半期連結累計期間に売上高増加に貢献いたしました平成28年3月発売のドレッシング2種の当期販売が前年実績を大きく下回りました。

またパスタソースにつきましては、前期パッケージデザインを一新し、売上高は引続き堅調に推移しております。

「万能調味料」として、使い方、食べ方提案など商品価値を伝える営業をさらに強化し、地域戦略では首都圏の拡販に注力して売上拡大を図ってまいります。

以上の結果、売上高は35億58百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は10億70百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

②レストラン事業

当第2四半期連結累計期間は、「既存店の活性化」、「新業態店舗のテコ入れ」、「提携事業の強化」のもと売上拡大と利益改善を図ってまいりました。旬の食材を取り入れた季節ごとのメニューとして、「春のごちそうフェア」と地元企業の食材を取り入れた「冷製パスタフェア」を実施いたしました。

また、平成29年7月にはグランドメニューを刷新し、洋麺屋ピエトロの原点である、お客様が自由にソースと具材を選べるサービス「カスタマイズパスタ」の再開や、健康志向に因るため、野菜・タンパク質・フルーツなどが一皿に詰まったサラダなど、健康を追求するピエトロらしさを展開しました。同時にメニューの数を絞り込み原価の低減にも努めました。

さらに、個店別の戦略としてディナー限定のアンティパストの提案なども行いました。

しかしながら、既存店売上はほぼ前期並みでしたが、閉店店舗の影響により売上高は減少しました。

以上の結果、売上高は12億95百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント損失は36百万円（前年同期は27百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は83百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は45百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億23百万円減少し、91億96百万円となりました。これは主に売掛金が1億9百万円増加する一方、現金及び預金が1億36百万円、保険積立金が2億44百万円、投資その他の資産の「その他」が1億91百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ4億52百万円減少し、38億80百万円となりました。これは主に買掛金1億1百万円、未払金が1億48百万円増加する一方、前社長の死去に伴い役員退職慰労引当金が5億84百万円、長期借入金(一年内含む)が1億円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、53億16百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億25百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億54百万円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億82百万円増加し、14億76百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前社長の死去に伴う役員退職慰労金の支払いがあったことなどにより、前年同四半期に比べ6億90百万円支出が増加し、85百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の解約や保険積立金の取崩しによる収入、また有形固定資産の取得による支出が減少したことなどから、前年同四半期に比べ15億82百万円収入が増加し、6億18百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出や前期の株式の発行による収入の影響により前年同四半期に比べ7億56百万円収入が減少し、2億48百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,961	1,615,269
預け金	52,172	66,440
売掛金	1,323,322	1,432,947
商品及び製品	78,818	90,004
仕掛品	2,972	3,605
原材料及び貯蔵品	117,636	120,629
繰延税金資産	25,402	112,979
その他	120,800	115,734
貸倒引当金	△3,226	△3,848
流動資産合計	3,469,861	3,553,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,219,372	2,188,180
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	769,032	712,572
有形固定資産合計	4,994,608	4,906,955
無形固定資産	30,551	35,001
投資その他の資産		
敷金及び保証金	440,297	451,678
保険積立金	323,235	79,076
その他	382,280	191,183
貸倒引当金	△21,159	△21,189
投資その他の資産合計	1,124,653	700,748
固定資産合計	6,149,812	5,642,704
資産合計	9,619,673	9,196,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	439,857	541,379
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	193,288	184,972
未払金	390,842	539,264
未払法人税等	124,388	29,530
賞与引当金	46,081	49,960
その他	223,036	281,694
流動負債合計	2,917,494	3,126,801
固定負債		
長期借入金	445,898	353,392
役員退職慰労引当金	700,996	116,892
退職給付に係る負債	58,053	68,401
資産除去債務	68,190	85,553
その他	141,488	128,981
固定負債合計	1,414,626	753,219
負債合計	4,332,121	3,880,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,141,823	3,171,338
自己株式	△495	△495
株主資本合計	5,258,352	5,287,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,871	31,902
為替換算調整勘定	328	△3,326
その他の包括利益累計額合計	29,199	28,575
純資産合計	5,287,552	5,316,443
負債純資産合計	9,619,673	9,196,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,185,143	4,936,836
売上原価	2,059,784	1,956,193
売上総利益	3,125,358	2,980,642
販売費及び一般管理費	2,733,176	2,682,086
営業利益	392,182	298,556
営業外収益		
受取利息	143	158
受取配当金	871	914
為替差益	—	29
貸倒引当金戻入額	607	—
その他	1,323	965
営業外収益合計	2,946	2,068
営業外費用		
支払利息	6,230	4,763
新株発行費	13,062	—
為替差損	886	—
その他	895	1,283
営業外費用合計	21,075	6,047
経常利益	374,053	294,577
特別利益		
固定資産売却益	565	—
受取保険金	—	170,785
特別利益合計	565	170,785
特別損失		
固定資産除却損	2,003	408
減損損失	2,178	8,164
役員退職慰労金	—	177,366
その他	850	1,700
特別損失合計	5,031	187,638
税金等調整前四半期純利益	369,587	277,724
法人税、住民税及び事業税	142,454	21,943
法人税等調整額	△2,487	101,130
法人税等合計	139,966	123,074
四半期純利益	229,621	154,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,621	154,649

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	229,621	154,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,049	3,031
為替換算調整勘定	△17,807	△3,655
その他の包括利益合計	△29,856	△624
四半期包括利益	199,764	154,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,764	154,025
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	369,587	277,724
減価償却費	126,149	152,192
減損損失	2,178	8,164
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△632	651
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,358	3,878
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,925	△584,104
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,937	10,347
固定資産売却損益(△は益)	△565	—
固定資産除却損	2,003	408
受取保険金	—	△170,785
受取利息及び受取配当金	△1,014	△1,073
支払利息	6,230	4,763
売上債権の増減額(△は増加)	152,761	△110,028
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,090	△15,121
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,473	101,730
未払金の増減額(△は減少)	12,563	131,279
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,083	63,538
その他	△16,993	△31,188
小計	694,188	△157,622
保険金の受取額	—	170,785
法人税等の支払額	△89,905	△99,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,282	△85,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	5,252	435,005
有形固定資産の取得による支出	△789,764	△30,650
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△11,838	△1,870
敷金及び保証金の回収による収入	1,980	2,893
敷金及び保証金の差入による支出	△14,090	△306
保険積立金の積立による支出	△5,265	△16,120
保険積立金の払戻による収入	—	260,279
利息及び配当金の受取額	1,014	1,067
その他の収入	1,930	1,780
その他の支出	△24,847	△3,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△964,629	618,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	—
長期借入金の返済による支出	△72,504	△100,822
リース債務の返済による支出	△19,527	△18,342
株式の発行による収入	1,122,917	—
配当金の支払額	△116,826	△124,818
利息の支払額	△6,198	△4,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	507,861	△248,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,058	△1,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,456	282,574
現金及び現金同等物の期首残高	851,309	1,193,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	991,765	1,476,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,780,240	1,321,178	83,724	5,185,143	—	5,185,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	974	974	△974	—
計	3,780,240	1,321,178	84,699	5,186,118	△974	5,185,143
セグメント利益 又は損失(△)	1,180,320	△27,847	46,345	1,198,818	△806,635	392,182

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は806,635千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,178千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,558,107	1,295,116	83,612	4,936,836	—	4,936,836
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	974	974	△974	—
計	3,558,107	1,295,116	84,587	4,937,811	△974	4,936,836
セグメント利益 又は損失(△)	1,070,618	△36,300	45,716	1,080,034	△781,477	298,556

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は781,477千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,164千円であります。